

2026 年度(令和 8 年度)学校評価自己評価表

芦田中学校区	校番 141	福山市立 福相小学校
最終更新日		2026年(令和 8年)4月 1日

I 福山市

めざす姿	すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価に係る写真資料などをもとに、学校の取組や近況を具体的に説明した。 各学校教育目標の実現に向けた、取組に対する評価を行った。 行事の開催や取組の仕方について、保護者・地域住民の方々と連携を図った。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた状況と温かい雰囲気の中で、生き生きと活動をしている。 基礎学力は概ね定着しており、学習に対する意欲は高い。また、協働的に課題を解決しようとする意欲も見られる。 友だちの意見から自分の考えを深めることはできるが、表現することには、課題がある。 	<p>育成する資質・能力</p> <p>めざす子ども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見・解決力、対話力、思いやる力</p> <p>ふるさと芦田に愛着と誇りをもち、未来を切り拓き、たくましく生きる児童生徒</p> <p>「児童生徒主体の学び」の創造</p> <p>○取組推進のための校区全体研修会による活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えを深め、表現する授業づくり(主体的・対話的・深い学び) 考え、議論する道徳の授業づくり(理論研修・教材分析・授業研究会) 学力・体力向上(調査結果の分析・改善策の検討・取組実施)
---	--	--	--

III 自校

<p>学校教育目標</p> <p>「自ら学び 心豊かで 生き生きと活動する児童の育成」</p> <p>～ 学びを深める 学びをつなげる ～</p>

<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> 【知】令和7年度全国学力・学習状況調査、標準学力調査より 全校平均比 6年…国語 113.7% 算数 118.9% 理科 113.8% 5年…国語 112.2% 算数 129.9% 4年…国語 98.1% 算数 105.4% 【徳】令和7年度広島県児童生徒学習意識等調査 5年児童質問紙より 肯定的回答 「学校は楽しい」100%、「自分には、よいところがある」90.9% 【体】令和7年度広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査より 男女計 16項目中「県平均値かつ全国平均値未満」は1項目のみ。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年度(令和7年度)福山教育アンケート(2回目)授業を行う教員より 肯定的回答 「人はどのように学ぶか、何にまずくかについて関心をもち、教材研究を行っている。」100% 2025年度(令和7年度)学校評価に係る児童アンケートより 肯定的回答 「主体的学び」に関する5項目の平均 87% <p>以上のことから、児童の学習意欲を高めながら、知・徳・体のバランスのとれた児童を育成できているといえる。</p>

育成する資質・能力	課題発見・解決力	対話力	思いやる力	
めざす子ども像	小 1・2	課題に対してあきらめずに取り組み、類似点・相違点を見つけたり、理由付けをしたりしながら表現している。	自分の考えをはっきりと、最後まで伝えている。	学校や地域の人に自分から声をかけている。身近な人に温かい心で接し、親切にしている。
	小 3・4	課題に対して見通しをもち、他の考えと比較したり、それを基に新たな発見をしたりしながら解決している。	友だちの考えとつなげたり、比較したりしながら話している。	学校や地域の人と自分から関わろうとしている。相手の気持ちを考えて、進んで親切にしている。
	小 5・6 中 1	自ら課題を見つけ、複数の情報を基に、類推したり、深化させたりするなど、工夫しながら解決している。	話し手の意図を考えながら聞いたり、相手の意見を受けて自分の考えを話したりしている。	学校や地域をよりよくするために行動している。相手の立場に立ち、親切にしている。
	中 2・3	自らの考えをもち、既習事項、収集した情報や生活体験などを根拠にして、比較、分類、関連付けて物事を考え、解決している。	多様な他者との意見の違いを認め、思考・判断したことをわかりやすく表現したり、議論したりしている。	地域や社会との関わり合いを通して、人としての思いやり、周りへの感謝の心をもち、その気持ちを行動や言葉に表している。

研究	テーマ	筋道を立てて課題を解決する児童の育成
	内容等	<ul style="list-style-type: none"> 算数科を中心とした授業改善を通して、児童の筋道を立てて課題を解決する力を育成する。 筋道を立てて課題を解決する力の育成方法について仮説を立て検証を行う。
めざす授業の姿		<p>算数科を軸として、以下の三点を授業改善の重点とする。また、学習指導案の中に研究主題に迫るための手立てを設定し、具体策を協議して取り組んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 児童の疑問や興味・関心から学習課題を設定する授業 ② 見方・考え方を働かせる工夫のある授業 ③ 自分の考えを表現し、協働的に検討する場のある授業

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 福相小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価
2	【教育研究部】 基礎学力の定着・向上と学び続ける力の育成	○	見直し	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、それらを活用して筋道立てて考え、説明できる児童を育成する。	⑦筋道を立てて課題を解決する児童像を具体化し、授業改善を行う。 ①家庭学習の手引きに基づいた家庭学習の充実により、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。	①全国学力・学習状況調査及び福山市学力定着調査において、全国平均比105%以上、達成率40%未満の児童の割合10%以下 ②児童アンケートの学習の習慣に関わる項目の平均で、肯定的評価80%以上								
2	【健康安全部】 自己調整能力と健やかな体づくりの推進		見直し	体を動かす楽しさを味わい、進んで体力向上に取り組む児童の育成	⑦授業で筋力向上を図る運動を行う。 ①家庭で取り組む運動を全校共通で行う。 ⑦縦割り班を活用し運動に親しむ活動を行う。	①上体起こしの記録が4月よりも増えた児童の割合 85%以上 ②【児童アンケート】「運動(遊びを含む)やスポーツをすることが好き」肯定的評価 90%以上								
2	【総務部】 ふるさと芦田に愛着と誇りをもつ児童の育成 教職員の健康管理の推進		見直し	交流館と連携した地域とともにある学校づくりの実現 教職員がいそいそと業務を行う学校の推進	⑦地域の教育材を活用した教育課程を編成し実行する。 ①地域から学習サポーターを募り積極的に活用する。 ⑦全教職員による全校内業務評価を行い、業務改善とやりがい向上を図る。	①【児童アンケート】「地域での活動や地域の人と一緒にする活動は楽しい」肯定的評価90%以上 ②【教職員アンケート】「仕事にやりがいを感じている」割合90%以上 ③時間外在校時間5ヵ月225時間以内(月平均45時間以内)								

[プロセス評価の評価基準]

[達成評価の評価基準]

[総合評価の評価基準]

評価	評価基準	評価	評価基準	評価	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。